

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会会報

全溶連

令和5年1月 第203号 www.zenyoren.com/

- 全溶連 みんなで創ろう 新たな未来
- 新時代 つないでいこう 保安意識



第13回 写真コンテスト優秀作品

「朝もやの砺波平野」前田利一郎 様 (北陸液化産業株式会社)

深尾会長年頭挨拶	2	単位組合紹介 (秋田県高圧ガス協会)	13
新春座談会 (長野県高圧ガス協会)	3	賛助会員の広場	
第30回保安対策連絡会議	7	(株式会社アシスト・ワン/株式会社ハマイ)	14
表彰/写真コンテスト佳作作品	10	お知らせ (川柳募集のご案内)	15
委員会報告	11		

令和5年 会長年頭挨拶

一般社団法人
全国高圧ガス溶材組合連合会

会長 深尾 定男



明けましておめでとうございます。高圧ガス並びに溶材業界の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より全溶連の事業活動に対しまして格別のご指導ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルス感染は再拡大し、社会的、経済的な混乱が広がり、収束時期が読めない状況が続きました。ただ、感染状況が比較的落ち着いている時期に企業活動をどの様に対応するか判断が難しい環境下でありました。また、働き方においても、飛沫感染や接触感染を避けるため、オンラインを駆使した会議も導入され定着しつつあります。

本年につきましても、変異株発生の影響によりコロナ禍収束の兆しは未だ見えない状況ではありますが、ワクチン接種率を高め、国内治療薬の開発推進により、感染対策と経済活動の両立に取り組み保安活動を継続して参ります。

全溶連では、感染拡大防止の観点から、昨年6月の総会は、全溶連会員に限定し、3年ぶりの対面での開催としました。各委員会活動においても、対面とオンラインによるハイブリット形式による会議での対応と致しました。また、本年6月の第80回全溶連大会九州は4年ぶりに対面での開催を予定しております。

例年各地域で開催されている消費者保安講習会の開催状況は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、参加人数の制限や開催規模を縮小せざるを得ない状況の中、消費者保安の啓発について保安活動に取り組んで参りました。

高圧ガスは人々の生活だけでなく産業用、医療用など多種多様な用途に利用され、防災対策上も必要不可欠な資源です。災害時には、業界全体が安定供給と保安確保に支障をきたすことのないよう、被災情報の収集など、関係機関との連携強化が必要です。

全溶連は高圧ガス消費者と直接結びついて全国組織として、消費先における取扱いガスの特性や機器の使用方法の再確認、高圧ガスの保安確保のための設備点検等、自主保安体制強化について啓発活動を行って参ります。

高圧ガス容器全国一斉特別回収の実施はその取組みの一つであり、「放置容器」「停滞容器」の危険性に鑑み、関係団体と協力し、事故発生防止並びに保安確保、容器の効率的運用の促進を図って行くものであります。

さらには、保安文書の改訂や新規発行など各種保安資料については、新たにプロジェクトを立ち上げて、消費者保安の確保に向けた活動を実現させていきます。

新たな活動として、全溶連では経済委員会が主体となり、持続可能な開発目標（SDGs）の10のゴールと15のターゲットに絞って目標を掲げ、今年度の全溶連大会九州での宣言を策定いたします。

本年も引き続きこうした活動にしっかりと取り組んで参る所存でございます。

年頭にあたり、社会生活と経済活動が一日でも早く回復することを願い、皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げますとともに、引き続き全溶連の活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

2023年1月 新春座談会

長野県高圧ガス協会設立50周年記念大会

出席者

宮原酸素(株)	専務取締役	宮原 龍也	会長
岡谷酸素(株)	代表取締役社長	野口 行敏	副会長
岡谷酸素(株)	常務取締役	羽多野雄一	監查理事
(株)宮原酸素	常務取締役	蛭江 治夫	監查理事
エア・ウォーター東日本(株)	取締役甲信越支社長	有賀 公勝	理事
(株)サイサン	東御営業所長	内田 稔	理事
輸入石油(株)	代表取締役社長	中島 隆	理事
(有)横山酸素店	代表取締役社長	横山 正一	理事
宮原酸素(株)	取締役長野営業所長	宮原 宏明	事務局長



(左から) 羽多野監查理事、有賀理事、内田理事、蛭江監查理事、宮原会長、野口副会長、横山理事、中島理事、宮原事務局長

司会(羽多野監查理事)：長野組合50周年記念イベントとして座談会を開催いたします。全員、マスクを外してお話ししていただきます。本日司会を仰せつかることになりました岡谷酸素(株)の羽多野でございます。それでは宮原会長よりお願いしたいと思います。



羽多野監查理事

宮原会長には、協会会長の所見と北信地区の保安についてお話ししたいと思います。

宮原会長：長野県高圧ガス協会は『昭和39年1月29日、長野県酸素懇話会の団体』を前身として、

昭和47年3月に会員数14社で設立され今年で設立50周年を迎えることができました。

日本全体の右肩上がりの好景気にも恵まれ、県内の物流事情や産業形態が大きく変化したことに伴い、高圧ガスの

需要も増加し、販売網の整備も進みました。その反面、全国的にも高圧ガス関連の事故が増加し、製造、輸送、保管など広範囲にわたり法律の規制も厳しくなりました。

平成4年に「長野県一般高圧ガス保安協会」が設立されて役員の方のご協力により各地域で



宮原会長

研修会などを開催し事故の無いように努めているところでもあります。

しかし、平成26年の木曾御嶽山の大噴火で死者、行方不明者63名の被害があり、一昨年には台風19号の水害により長沼地区を中心に約4000棟の住宅被害と関連死を含め17名の犠牲者を出しました。

今後は、地球規模的な環境変化が予想される昨今ですので、今までも増して自然災害に対する安全対策を確立することが急務と思われます。

皆様にも今後の安全対策の一要素としてお考えいただければ幸いです。

司会：それでは副会長の岡谷酸素(株)の野口社長よりお願いいたします。

野口副会長：時代を大きく分けると昭和の高圧協会と平成令和の協会活動で、昭和は高度成長期の我々の高圧ガス販売業者の情報交換会の場という印象でした。平成令和になってから高圧ガスの安全と不明容器の解消に徹底に取り組むことで今に至っています。



野口副会長

来賓の長野県産業技術課の倉島課長さんには、普段厳しいご指導をいただいている県に対して段取りが悪いのだと文句を言ったのが鳥インフルエンザの炭酸ガス供給でした。それから段取りがスムーズになって今では電話一本で鳥インフル、豚熱でも無駄なく対応できるようになりました。

宮川会長からは、平成18年に改めて酸素・アセチレン事故防止の講習会を開催し、お客さんに事故を起こさせないことが我々の使命であり、存在意義というのがあるとうかがいました。

それから、50周年記念品贈呈で長野県看護専門学校に医療用酸素を贈呈するに至ったのは、看護師の人が医療用酸素の取り扱いが分からない、医療用酸素のボンベの色が緑だと思っている人がいることから、この度の50周年記念事業として看護専門学校に医療用酸素を贈呈することとなりました。我々が当たり前と思っていたことがそうではないと考えさせられました。

司会：(株)宮原酸素の方から中信地区の状況等々述べていただければありがたいです。

蛭江監査理事：高圧ガスという性質から我々は神経を使って商売をしています、更に事故を起こ

さないよう自主保安を徹底させるということを心掛けて参りました。平成18年より毎年「酸素アセチレン消費者保安講習会」を県内4地区に分け、北信・東信・中信・南信の順番で開催し今年で16回



蛭江監査理事

目となります。中信地区もスタートの頃から各ユーザー様への声掛け、どのように説明したら多く来て頂けるか、保安講習会が自主保安に繋がっているかを常に考えてやって参りました。保安法制定から26年目となりましたが、自己責任原則の元「法令遵守+自主保安=保安の確保」今まで以上に保安の確保を確立していくことが使命と認識しています。中信地区は日頃の販売の競合もありますが、長期停滞容器の改善を含めガスの保安という共通テーマにおいては「呉越同舟」でお互い連携を密にし、自主保安の意識向上の保安活動をする。これが一番大事かなと思っています。

司会：東信地区を代表される(株)サイサンの内田さんにお話し願います。

内田理事：先ほど高圧ガス保安協会の久本様からのお話にあった放置容器に関して、私も10年20年ぐらい前に比べたら確かに少なくなったと思います。



内田理事

毎年、全国一斉容器特別回収を実施している中で放置容器が減って保安を維持する良いことだと思っています。

それから容器管理指針というのは皆さんご存知だとは思いますが、4つの団体が連名で容器管理指針を県に提出され、お陰様で会社の資産である容器を活用していく中で非常にやり易くなりました。

また、9月には東名高速でボンベが落下して火災事故に至ったことで行政の取締りが強化されました。

容器の取り扱いに関しては、万全を期して配送している中で高圧保安法の基準があり、塩素、アセチレンの混載禁止、縦積みするとか色々ある中で注目したのが荷台のあおりの高さです。あおりの高さが容器の2/3以上を必要としている。実際にはLPガス容器の高さは約140センチで2/3以上必要の場合あおり高さが90センチ強になるの

です。最近、私がつくづく思うのは事故も絡めてそのあおりの高さをもう一度見直しする必要があるという事です。

有賀理事：私からはメーカーの立場で保安の全般的にかかるお話をさせていただきます。(JIMGAの災害統計を提示) これらより災害の要因は、ヒューマンエラーによるものがその大部分を占めていますが、不適切な指示や安全な作業場を提供しないなど指導側の問題も発生しており、雇用主、指示者からの指導方法にも問題があることが懸念されます。これらは、日頃から皆様の事業者においても安全点検・安全対策を実施し労働災害の撲滅に取り組んでいると思いますが、コロナ禍によりソーシャルディスタンスやリモート会議によるコミュニケーションの減少も少なからず影響しているものと思われま



有賀理事

長期停滞容器の回収本数は、この10年で大幅に減少するものの各会員事業者の皆様の協力を得、より一層注力していく必要があると考えます。

在宅酸素療法での事故は、残念ながら調査対象期間ではゼロとなったことがなく、特に自宅での火災事故は医師から強く禁煙を推奨されているにも関わらず、自宅での隠れ喫煙が引き金となり火災になることがある状況です。

このような過去の事故事例を参考に、引き続き当社や関連団体を含めて高圧ガス事故撲滅に向けた取り組みを行っていききたいと思います。

横山理事：長野県溶接協会の理事長を務めておりますが、高圧ガスを使用するガス溶断業務に関しては、国が定めたガス溶接技能講習があり、この資格を保有していないと携わることが出来ないようになって



横山理事

まっています。この講習の中で一部、高圧ガスの保安に関しても教育を受けますが、作業技能に関する講習はあるのに、ガス溶断をはじめとして高圧ガスの全使用用途での消費利用については無資格で利用できることが、自主保安という利用者、利用業者に委ねることだけでは残念ながら履行されず、取り扱うガスを知るとい保安の原則を欠いており事故に繋がっているのではないかと考

えています。

過去には、溶接協会の範疇で、技能の講習に対して保安の講習及び資格というものを導入することで安全に寄与できるのではないかとという思いから、様々な働きかけや提案をおこなって来たがなかなか難しかったです。このような活動経緯からガスの消費という部分についても取り扱い前に最低限の教育実施を資格等の仕組みを用いて導入することについて当協会を含めて取り組んでいく必要があると考えます。

中島理事：当協会以外に、長野県石油組合の副理事長、または全石連で活動させていただいております。短期的にはロシア・ウクライナ問題による原油高で非常に苦しい状況です。また、長期的な部分では、カーボンニュートラルにより、将来的にガソリン自動車の電気自動車化により石油業界としては岐路に立たされている状況にあります。



中島理事

飯田地区はリニア関連の工事が旺盛です。山梨県から愛知県に抜けるルートの中で天竜川を渡って橋の上に駅ができるというところで、主要区間のほとんどがトンネルでその関連で水処理工事などが行われており特にアセチレンガスの現場利用が増えている状況です。併せて、三遠南信道路の工事も進んでいる。全国から色々な業者が集まり色々な工事を行っております。ついては、現場での事故が起きないように販売店としての保安教育の努めをしっかりと果たしていきたく考えています。



フリートーク

蛭江監査理事

ガスの事故防止という保安の面からすると、容器管理も大切です。特に長期停滞容器の改善は不明容器の防止とガス事故の防止にも繋がり、又ガス販売店としても円滑な事業を行う上で重要です。当社では容器無償貸与期間を1年としていますが、その3ヶ月前にサッカーのワールドカップじゃないですが貸出容器確認書をもって該当した容器番号はイエローカード的に黄色で印字して、お客様の気づきを喚起する対応をとっています。あらゆる手立てで使用が済んだら返却する、期限前には返却する。そのお客様への意識付けに努力しています。



蛭江監査理事

野口副会長

物流および配送人員に関する問題ですが、人手不足ということに関しては、仕事の内容よりも給料が安いから集まらないということが実際問題なのではないかと思えます。改めて働き方改革について賃金を含めた体制づくりが必要と考えています。しかしながら、雇用側もそのための原資確保のための価格転嫁という問題を乗り越えないといけないと考えています。



野口副会長

それから、横山社長からもありましたが、例えば新しい用途としては信州や山梨ではワイン醸造所のアルゴンですとか、過去に取り違え事故のあった医療用酸素と炭酸の問題など、高圧ガスを利

用する方々の裾野が広がる中で、取り扱うすべての方に対して年に1回くらいは高圧ガスの保安講習を受けるといった機運が作りたいたところです。

有賀理事

保安管理全体の話が先程ありましたが、当社内でも色々な講習や研修を受けるわけですが、最近はe-ラーニングが増えました。大口の場合には出張保安講習なども実施することもあります。一般消費者など広く対応していく場合には、そういったe-ラーニングに参加していただいて、受講と理解度テストを以って高圧ガスをお使い頂くこともひとつのやり方ではないかと思えます。



有賀理事

中島理事

これからのガソリンスタンド、いわゆるサービスステーションというものは燃料だけを売っていても商売が成り立たないことは、メーカーや販売店含めて共通の認識です。まずはクルマ周りで付随しているタイヤ交換や洗車を扱う。そこからマルチステーションという言い方が正しいかは別として、急速充電や水素燃料やタクシー等で使われているLPガス燃料のマルチスタンドを作りましょうという未来像はあります。



中島理事

ただし、多額な投資をして商用ベースにのせられるのか、また、法対応や保安に関して行政のご指導を頂きながら、安全安心を心がけてやっていかなければいけないと思っています。



第30回 保安対策連絡会議

2022年11月25日（金）東京グランドホテルにおいて業界関係者による第30回保安対策連絡会議が行われました。

出席者 （一社）日本産業・医療ガス協会
 （一社）日本溶接協会 ガス溶断部会
 （一社）日本溶接協会 ガス溶断部会
 日本乾式安全器工業会
 （一社）全国高圧ガス容器検査協会
 高圧容器工業会
 （一社）全国高圧ガス溶材組合連合会

業界誌関係

澤木専務理事
 金本安全推進委員会委員長
 阪口安全推進委員会副委員長
 西田会長
 伊藤副会長
 小寺事務局長
 深尾会長、石川副会長、佐藤経済委員長
 大岡保安委員長、鈴木保安副委員長
 関口事務局長他1名 計13名（敬称略）
 産報出版（株）1名、新報（株）1名

「会議も平成5年以来、毎年の開催を重ね、今回で30回目を迎えることが出来ました。これもひとえに、関係団体ならびに会員の皆様方のご理解ならびにご協力の賜物と感謝申し上げる次第である。



深尾 会長

さて、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の中、ロシア・ウクライナ問題の長期化によって、エネルギーや物流のコストは上昇し、急激な円安など、社会的・経済的不安は未だ収まる気配はありません。

全溶連としては、これまでに経験したことの無い環境にあって、近年発生頻度の高まっている自然災害にも備えていかなければなりません。特に、河川の増水に伴う高圧ガス容器の流出等の社会的不安に対しては、関係団体と協力して対策の徹底を図ってまいりたい。高圧ガスは防災対策上も必要不可欠な資源であることから、災害時における安定供給と保安確保に支障をきたすことのないよう、関係機関との連携強化にも注力しております。（以下省略）」

次いで本日、会議進行役の佐藤委員長より「本日は貴重な時間を割いて保安対策連絡会議に出席頂きそれぞれの団体の方々から活発なご意見、ご助言を頂き、今後の全溶連の運営に活かせるようにしたい。」との挨拶の後、議事に入った。

最初に報告事項ということで前年度議事録の確認、消費先における容器事故の分析と容器処理事



業の実施状況に関する報告を行った後、各団体における保安活動、事故対策の取り組み及び問題点について意見交換を行った。

◇日本産業・医療ガス協会 JIMGAにおける保安活動、事故対策の取り組みと問題点について

1.自然災害発生時等における高圧ガス容器の事故防止対策及び法改正動向

①容器流出防止対策

保安セミナーにおいて、

本テーマを含めて災害対策/BCPについて演説/意見交換を実施

国交省が公開している防災教育資料を紹介、地域防災対策の歴史等を確認することも事業所における防災教育/対策に活用

②防災防止に係る法改正

2021年度改正の流域治水関連法を再確認
 水災害が激甚化していることで改正された



日本産業・医療ガス協会 澤木専務理事

水防止関係の概要とポイント確認

- ③災害事例における関連情報の抽出と再確認
過去一年間に発生した風水害・火山・雪害・津波の概要を確認
- ④事業者が注視すべき災害事例の関連情報、高圧ガス/医療に関連する被害情報等確認

2. BCP対策(自然災害、感染症/健康被害等)

人命を優先した医療ガス供給継続

- ①災害時医療ガス供給協定の締結状況の確認内容のアップデートを行っていく。
- ②定期訓練の実施状況等を確認
- ③「緊急・災害対応体制の整備に関する手引書」で不足している点を加味したJIMGA版手引書を作成する。

3. 高圧ガス容器全国一斉特別回収の実施

各関係団体と協力し、10月の1ヶ月間で特別回収運動を展開し、結果はJIMGAウェブサイトにて公開/周知を図る。

4. 各種セミナーの企画・運営

(1) 医療ガス保安に関するもの

看護師向け教材として「いまさら人に聞けない酸素ガスとボンベの秘密」のスライド動画を作成。「医療ガス教育教材(ビデオ)」の配信を2023年3月まで延長。地域本部からの要望により、「修了書発行」医療ガス教材(ビデオ)講習会を受講期間～3月末の期間限定で開催予定。

(2) 産業ガス保安に関するもの

産業ガス保安に関するオンデマンド教材「保安ガス講習」を作成販売し、「自然災害対策」、「CE事業所・ローリ運行事業所関係基準」、「蒸発器に関する注意喚起」については対面式教材を作成。

◇日本溶接協会 ガス溶断部会

保安活動、事故対策の取り組みについて

1. ガス溶断用圧力調整器の高圧部部品供給停止について

(一社)日本溶接協会 ガス溶断部会 安全推進委員会では、ガス容器用圧力調整器のユーザーが、自ら高圧部部品を交換及び修理し、これに起因する火災・



日本溶接協会 ガス溶断部会 金本委員長

人身事故の発生を防止する為に、ユーザーに対

する高圧部部品の供給を2022年8月1日から停止した。

対象メーカーはガス溶断部会 安全推進委員会所属メーカー加盟の6社

(URL: http://www.jwes.or.jp/senmon/gs/archives/2020/10/post_6.html)

2. ガス溶断機器定期点検の周知について

産報出版発行「溶接ニュース」にガス溶断機器類の定期点検に関する広告を掲載し、適正な点検の励行を呼びかけた。

3. 逆火防止ビデオの作成について

日本乾式安全器工業会と協力して、逆火防止ビデオの作成に向けて準備している。

4. 講習会の開催状況について

「熱切断作業の品質と安全講習会」については、平成16年から実施しており、過去17回の開催で延べ約1,150名が受講している。今年度は2022年11月16日に東京(秋葉原)及びオンライン(WEB)にて開催し76名が受講した。

◇日本乾式安全器工業会 日本乾式安全器工業会における活動報告について

今年度の事業報告を以下に報告する。

(1) 事業期間・会員情報

期間：令和3年4月1日～
令和4年3月31日

会員：9社

- ・岩谷瓦斯株式会社 ・小池酸素工業株式会社
- ・高圧ガス工業株式会社・株式会社阪口製作所
- ・信和ガス装置株式会社・株式会社千代田精機
- ・ヤマト産業株式会社 ・第一産業株式会社
- ・日酸TANAKA株式会社

(2) 事業内容

1) 講習会・講師派遣

- ・今年度6回実施(前年度 22回実施)
- ・活動内容

2021年10月宮城、東京、大阪において溶断器の安全な取扱い方法・乾式安全器の作動原理・逆火の実演等のデモを実施した、また会場には乾式安全器を展示及びパンフレットを配布し、未設置の危険性について説明を行った。

2) 啓蒙活動



日本乾式安全器工業会 西田会長

- ・適切な設置、点検の重要性と新品交換の推奨
- ・溶断用可燃ガス全般を用いた溶断作業への乾式安全器の設置を推奨
- ・アセチレンガス設備以外にも安全器の設置を推奨
- ・乾式安全器の定期点検・設置普及活動ポスター・チラシの作成（一部見直し）

近年水素ガスを利用した溶断も行われていることから水素用の乾式安全器の要求がでてきている。現在メーカー9社で水素用安全器の開発をしているが、乾式安全器に関しては、バージョン（ラインアップ）が少ないことから安全器工業会としても水素の安全器開発を含め可燃性ガスに対する逆火の怖さを周知し、乾式安全器を設置頂くように活動していきたい。

◇全国高圧ガス容器検査協会

- 1) 当協会では本年度、自然災害時における容器の流失防止策の作成を実施する事で進めている。耐圧検査後の容器には残ガスが無いため問題は生じないが、預り容器が顧客保有である以上、流失することは許されないことであり、流失防止策を講じる必要がある。LPにおいては流失防止用ネットを使用する等の策があるものの解決できていないのが現状である。
また、地中に埋まった容器の発見方法や毒ガスの対応についても検討している。
- 2) FRP 容器の耐圧検査においてO2MEDのシールを貼付する事が今年度より決定し、作業を進めている。短時間での決定、作成であった事からユーザーへの認識が浸透していないこともあり啓蒙事業も含め講習を実施していく事を考えている。
- 3) 耐圧検査場は車検場と同様で、ガスボンベを安全に使用するために検査をしている部署である。自社保有容器の検査を依頼するにあたっては、検査が的確に作業されているかを把握するためにも所有者の方々には適宜、容器検査場を訪問し実情を確認して頂きたい。



全国高圧ガス容器検査協会 伊藤副会長

◇高圧ガス工業会

資料も用意せず出席させて頂いた。

今回、配布頂いた議事次第4ページに報告されている人的被害の推移表において、令和3年の死亡事故について気が付いた点がある。

当時の事故の原因が判明される前に容器メーカーの方にも二酸化炭素を詰めている容器の製造実績について、当局より問い合わせがあった。我々の顧客である消防設備業者においても色々心配されていた。このことから安全弁の大切さを再認識した次第である。



高圧ガス容器工業会 小寺事務局長

◇全国高圧ガス溶材組合連合会

- ・高圧ガス販売店における日頃の取組として、ユーザー所有の容器に対する対応は十分でない

全溶連としては、この取り組みを業界全体の活動として行っていくことが大事であり、ワーキンググループで提案された内容がそのままSDGsへ繋がるのであればSDGs宣言をするべきとして来年6月に開催される全溶連大会九州で宣言発表を行う旨の説明を行った。



全国高圧ガス溶材組合連合会 大岡保安委員長

最後に佐藤経済委員長より「本日頂いた貴重なご意見等を参考にさらなる保安確保に活かした活動を推進していく」ということで、第30回保安対策連絡会議を終了した。



栄えある受賞おめでとうございます

2022年第59回高圧ガス保安大会（東京・港区ANAインターコンチネンタルホテル東京）が10月28日（金）に開催され、今年度における高圧ガス保安経済産業大臣表彰を始めとする各者のうち全溶連会員多数の方が表彰されました。

経済産業大臣表彰

優良製造所

平沢商事株式会社 飯泉工場（神奈川県）
江藤酸素株式会社 佐伯事業所（大分県）

優良販売業者

光機材株式会社（栃木県）
有限会社東屋商店（神奈川県）

優良貯蔵所所有者

株式会社巴商会 大森ガスターミナル（東京都）

保安功労者

高須賀秀行氏 エナジー・ワン株式会社（愛媛県）
石川 雅一氏 新光酸商株式会社（愛知県）

高圧ガス保安協会会長表彰

優良製造所

株式会社共和溶材 光都ガスセンター（兵庫県）

優良販売業者

谷部産業株式会社（栃木県）
株式会社巴商会 磯部営業所（群馬県）
江場酸素工業株式会社（愛知県）
株式会社カクマル（愛知県）

優良製造保安責任者

日野原茂一氏 カンサン株式会社（群馬県）
西端 信一氏 有限会社三共酸素商会（兵庫県）

優良販売主任者

小篠 国宏氏 小篠酸素株式会社（栃木県）

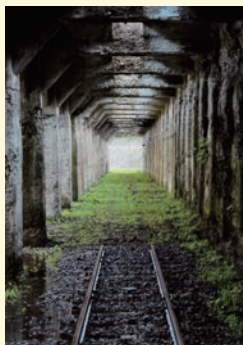
保安功労者

黛 純二氏 上毛天然瓦斯工業株式会社 高崎支店（群馬県） 阪田 亮氏 千葉日酸株式会社（千葉県） 石川 英紀氏 ユニオンメディカル株式会社（東京都） 石塚 勲氏 富士見興業株式会社（東京都） 佐波 充氏 株式会社サナミ商会（神奈川県）	羽多野雄一氏 岡谷酸素株式会社（長野県） 苅田 裕也氏 株式会社セキサン（岡山県） 篠原 和伸氏 四国大陽日酸株式会社（徳島県） 男澤 隆氏 株式会社武田商事（長崎県） 嶋野 浩氏 株式会社山国商会（大分県）
--	--

第13回
写真コンテスト
佳作作品



佳作「灯火」
平田 佳志様
（福岡酸素株式会社 大分営業所）



佳作「旧太子線、過去から
未来へのレール」
小池 絵美様（株式会社鈴木商館
北関東支店群馬営業所）



佳作「SKYFUJI」
小澤 昌幸様（高知溶材株式会社）

優秀賞1名・佳作3名・参加賞9名（総勢13名参加26作品）ご参加ありがとうございました。

委員報告

2022年11月

経済委員会

日時 2022年11月11日(金)14:00~16:30

場所 エッサム神田1号館 902号

出席者 佐藤委員長、渡辺委員、小宮委員、
松原委員、吉住委員
オブザーバー：大岡保安委員長
オンライン参加：市村委員、小林委員、
東委員

事務局2名

議題

・2022年度経済委員会活動方針について

1) 保安契約促進に関する取り組み強化について
容器管理指針の策定と活用の推進について、今後も保安委員と合同にて取り組んでいく。

容器管理指針における返却期限については全国47都道府県全てが揃ったので6ヶ月、12ヶ月での返却期限で検討して頂くよう進めていきたい。

2) 賠償責任保険制度について

賠償責任保険は万一の賠償リスクをカバーする保険であり加入促進の対応について取り組んでいく。

3) 全溶連発行保安文書価格見直しについて

2022年度7月現在の全溶連発行保安文書価格表15種類について、消費者物価の高騰により、2023年4月より一律：10%UPの価格改定を実施したい。なお、在庫分の保安文書については現行価格を適用とする。

4) 経済動向、市況調査に関する情報の共有化について

新型コロナウイルス感染による地域経済活動、鳥インフルエンザ・豚熱に関する対応に取り組み今後も見直しを図っていく。

5) 一般高圧ガス販売時マニュアル改訂について

販売マニュアルの見直しを行う事で進めていくが、資料作成を特定の人に依存している状態であることから、将来を見据え新規の販売マニュアルについてはプロジェクトを立ち上げ、若い世代の方々に参画いただき進めていく。

6) SDGsの取組について



ガス業界における全溶連の地位を高めるためにもSDGsを宣言することへの重要性を見出した。

全溶連が進めるSDGsについて10ゴールと15ターゲットを目指した動画を見て頂いた後、今後のSDGsに対応するスケジュールとして、理事会でGO→ワーキングテンプレートの作成→経済委員会採用内容の策定→保安委員会で実施→連絡会議（10月末）→理事会配布（11月末）→2月の委員会で審査→全溶連九州大会（6月）で宣言することで進めている。

保安委員会

日時 2022年11月18日(金)14:00~16:30

場所 全溶連 会議室

出席者 大岡委員長、鈴木副委員長、三嶋委員、
齋藤委員、金子委員

オブザーバー：佐藤経済委員長

オンライン参加：石川副会長、

柳田副委員長、

小野口委員、福島委員、

中森東委員、山本委員、

宮城委員、古谷委員

事務局2名

議題

1) 2022年度保安委員会活動方針について

① 自主保安活動の強化・推進

- ・新型コロナウイルス感染防止環境下における保安活動
- ・保安講習会資料の改訂と新規発行

- ・保安契約の促進に関する取組は経済委員会と合同で取り組む
 - ②放置容器の発生防止と処理促進
 - ・滞留容器、盗難容器の発生防止に向けた取組
 - ・災害時における容器流出の対策
 - ③保安・経済委員会WGの開催
 - ・各種保安文書の改訂プロジェクトの立ち上げ
- 2) 高圧ガス事故（消費先）の現状と放置容器の処理促進の件
- ① 2021年度高圧ガス事故の現状
- ・前年度と比して2件減となったものの物質名としてはアセチレンの災害が多く、2021年の災害合計57件の内17件となっている。消費先の事故の原因別の分析としては、誤操作・誤判断。設備の維持管理不良や人的要因によるものが散見される。
 - ・2021年度に関しては二酸化炭素消火設備（液化炭酸ガス）に関して死傷者を伴う事故が相次いで発生した。二酸化炭素消火設備は、電気設備が設置されている施設、ボイラー室などの多量の火気を使用する施設または機械式駐車場など、様々な場所で使用されていることから、消防法で安全に対する技術上の基準が定められており、信頼性の高い消火設備であるが、不適切な取扱いをすると中毒、酸欠などの人的被害がある事故につながる可能性があり、今回の事例は何らかの原因により二酸化炭素消火設備が作動し、二酸化炭素の噴出、漏洩による事故が2件発生し作



業者6名の死亡事故が発生した。

② 容器回収月間について

前年度に引き続き全国一斉特別回収を実施し、今年も回収報告には回収場所の報告を追加している。

③ 放置容器処理事業（特別枠）の実施状況

第6期の2年度（2021年4月1日～2022年3月31日）となる。

2021年度の配賦予算は3,774,790円でスタートし最終的に内容物不明容器5本、毒性ガス容器4本、アセチレンガス容器327本、合計2,173,690円の処理となり残金1,601,000円をKHKへ一旦返金した。

3) SDGsの取組については

ガス業界における全溶連の地位を高めるためにもSDGsを宣言することとし、経済委員会と合同にて策定することで進めることとした。

記念行事のお知らせ

2023年度における記念行事を予定しております。

行事名	予定日	開催場所	参加予定者
北海道溶材商業会 60周年記念例会	未定	未定	未定
東京都高圧ガス溶材協同組合 創立70周年記念	4月1日以降	未定	200人
北陸高圧ガス溶材組合 設立70周年記念事業	7月13日～15日	北海道	100人

単位組合紹介

秋田県高圧ガス協会

所在地 〒010-0520
 秋田県秋田市櫛山登町1番20号
 株式会社相場商店内 2F
 TEL:018-833-8767 FAX:018-835-2231

会長 相場 栄利
 正会員 21事業所(内 全溶連会員8社)



相場会長

秋田県高圧ガス協会は、昭和45年に発足した秋田県高圧ガス懇話会から高圧ガスの多様化に伴い保安の充実を図るため、昭和52年1月26日に新たに設立いたしました。この会の目的は高圧ガス保安法を遵守し、公共の安全確保に寄与するとともに会員が協力して業界の秩序を維持することに加えて、教養の錬磨に務め業界の社会的地位の向上と共存共栄を図ることとしています。

新型コロナによる世界的な影響を受け、秋田県高圧ガス協会総会は書面会議で2年間開催していましたが、本年はコロナ感染対策緩和もありようやく3年ぶりとなる通常総会を6月28日に開催した。

当会の重点活動項目は次のことを掲げています。

- 1) 防災訓練による防災技術向上と事故防止
- 2) 高圧ガス保安講習会による防災意識高揚
- 3) 高圧ガス取扱い事業所の自主保安

活動内容としては、全国防災の日に合わせて、8月後半に開催の秋田県総合防災訓練に参加。H26年に秋田県と締結した「災害時医療ガス供給協定」の基づき緊急医療ガス供給の支援訓練を実施している。(この3年間は、新型コロナの影響もあり訓練中止や規模縮小のため参加なし。)

2022年度高圧ガス保安講習会は、秋田県高圧ガス地域防災協議会と共催で10月の全国高圧ガス保安活動推進週間に合わせて秋田市にて開催。講師は秋田県総合防災課(秋田県の防災対策)(高圧ガスの事故対応について)秋田県畜産振興課(鳥インフルエンザと豚熱について)のテーマで、会員事業所の皆様に各方面の知識と現状についての認識を高めていただく内容で開催しました。

11月には、秋田県健康福祉部による令和4年度保健医療調整本部訓練が実施されJIMGA医療ガス協会秋田県支部として参加、大規模災害時における秋田県災害医療コーディネートチームとの医療ガス供給の連携訓練を行った。

2021年(令和3年)11月には、秋田県(横手市)で県内で初めてとなる高病原性鳥インフルエンザが発生し、秋田県と協定(2016年)を締結している「家畜伝染病発生時における液化炭酸ガス等の供給に関する協定書」に基づき、会員事業所で保有していた炭酸ガス容器と秋田県所有容器他(合計275本)を使用して、会員事業所の協力を得て液化炭酸ガスを発生現場に供給し約2日間で14万5千羽の殺処分を完了に寄与しました。

その後、鳥インフルエンザ防疫対応の経験を基に秋田県と発生時に使用する液化炭酸ガス容器についての協議を重ね、秋田県所有の鳥インフルエンザ用の液化炭酸ガス容器(255本)を準備する体制が2022年度より構築されました。また、容器の保管・管理についても秋田県高圧ガス協会会員事業所の協力で秋田県担当部署との連携が常時保たれ、いつ発生するかもしれない状況に備えています。

当協会としては、年々発生事例が増加している高病原性鳥インフルエンザが秋田県で発生した場合に備えて2021年度・2022年に開催した高圧ガス保安講習会においても、講習テーマとして「高病原性鳥インフルエンザについて」を取り上げ、会員に対して家畜伝染病への知識を深めていただき、発生時に対応する秋田県炭酸ガス供給連絡体制への理解と協力を推し進める活動を継続して実施してまいります。

賛助会員の広場

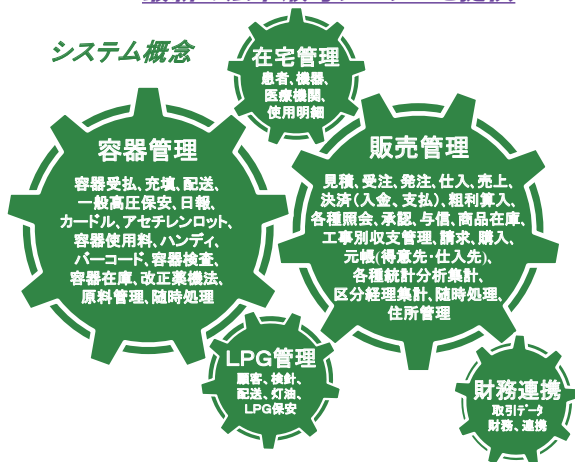
新登場
Ver10シリーズ

かいけつ びんびんまる
“**怪傑・瓶々丸**”[®] シリーズ

資料請求・訪問デモの
お申し込み随時受付中
アシスト・ワン ホームページ
<http://assist1.co.jp>

容器管理システム納入実績No.1 お客様の規模に合わせたご提案をさせていただきます

最新の法令順守システムを提供



「高圧ガスメーカー様・溶材商社様向け専用システム」

- ◎ **ご提供システムの主な特長**
- ▶ 販売・容器・保安管理一体連携システム
 - ▶ 見積・受注・発注・仕入・売上間データ共有 (参照・連動・連携)
 - ▶ 最終相手先別・商品別・配達区分別・単位別、取引単価
 - ▶ 在庫場所別・商品別・個別在庫別、在庫管理
 - ▶ 工事別収益管理表、承認処理、2段階の与信管理
 - ▶ 統計分析は、月別(12ヶ月)・前期比較集計 (一部グラフ)
 - ▶ 容器調書計算書は、各地の方式に準拠
 - ▶ 高性能ハンディにて容器管理精度・処理速度向上 (特許手法)
 - ▶ 最終納入先別の保安台帳作成 (新書式・SDS対応版)
 - ▶ 価格改定・在庫棚卸に、EXCELシート活用実装済
 - ▶ 情報管理 (漏洩防止と安価で安心データバックアップ)
 - ▶ 導入後、追加経費不要のオールインワン保守パック
 - ▶ インボイス制度対応
 - ▶ 電子帳簿保存法対応
- その他多くの機能を実装済
【詳しくはお問い合わせ下さい】

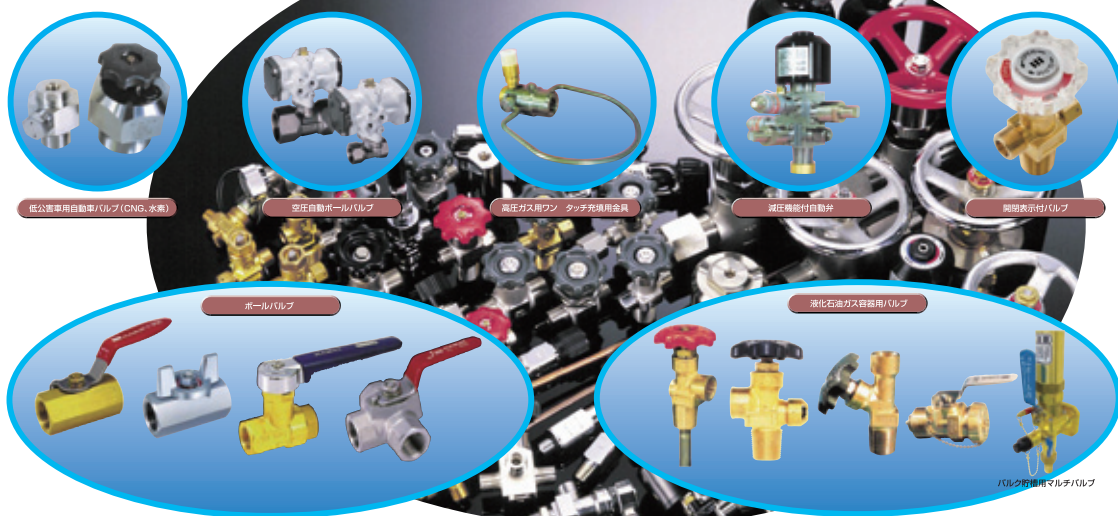
取扱店	
エスシーエル株式会社	富士通Japan株式会社
東日本営業部 東京支店 TEL (03) 6848-3310	東京エリア本部 東京エリア本部
中日本営業部 名古屋支店 TEL (052) 726-9030	東京第三統括ビジネス部 東京第三統括ビジネス部
北陸支店 TEL (0766) 27-6107	第六ビジネス部 TEL (03) 6281-4111
西日本営業部 関西支店 TEL (078) 978-0611	
関西支店 (大阪) TEL (06) 6302-1115	
広島支店 TEL (082) 258-5314	
九州支店 福岡営業所 TEL (092) 431-4411	
九州支店 北九州営業所 TEL (093) 983-0633	
九州支店 佐世保営業所 TEL (0956) 31-7458	

開発・販売元	
株式会社 アシスト・ワン	
東京本社 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目24番16号 (内田ビル)	TEL (03) 6233-9810 (代) FAX (03) 3232-2551
大阪支社 〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中3丁目6番8号 (難波シーサービル)	TEL (06) 6648-7780 (代) FAX (06) 6648-7788

信頼への限りない挑戦。すべては安全性への追求から始まる。

安全性とは、人が呼吸をすることを日常において意識しないのと同じようにとらえられるべきだと、ハマイは考えています。つまり、〈安全とは自立たない〉ということです。こうした基本理念と、長年培った高い技術による製品作りが、ユーザーの皆様の高いご評価を得ていると自負し、私たちハマイは、今後ますますの高精度・高安全性のために、さらに研究・開発の努力を続けていきます。

HAMAI
<http://www.hamai-net.com>



株式会社 **ハマイ**

■ 本社 〒141-8512 東京都品川区西五反田7-7-7 SG スクエア 2F
TEL.03-3492-6655 FAX.03-3492-6660

■ 府中工場 ■ 大多喜工場 ■ 大阪営業所 ■ 名古屋営業所 ■ 福岡営業所 ■ 仙台営業所 ■ 倉敷出張所

第2回 高圧ガスに係る川柳募集のご案内

今年度も日々の業務に於いて高圧ガスを扱っている皆さんから高圧ガスに係る川柳を募集する計画を致しました。

川柳の賞位にかかわらず、各作品をヒントに機関誌掲載の4コマ漫画としてコミライズも検討されますので、我と思わん方はどしどし投稿して下さい。

応募作品：テーマは高圧ガスに関わる内容で、高圧ガスあるある、ガスの取り扱いに際して疑問に思う事、困った事、良かったと思う事、等々日常におけるどの様な出来事でも結構です。ご応募に際しては、一人3点迄応募できます。但し、他のコンテスト未応募作品で著作権などの権利全てが応募者に帰属するものに限ります。

なお、応募作品には「会社名」「氏名」「会社の住所」「会社の電話番号」を必ず明記のうえご応募をお願い致します。

応募資格：全溶連会員及び会員の従業員

応募方法：全溶連事務局あてにメールにて応募ください。

表彰：最優秀賞 1名 商品券 5千円
優秀賞 若干名 商品券 3千円
参加賞 入賞者以外の応募者全員の方にクオカード1,000円分を贈呈致します。

選考：全溶連事務局にて選考

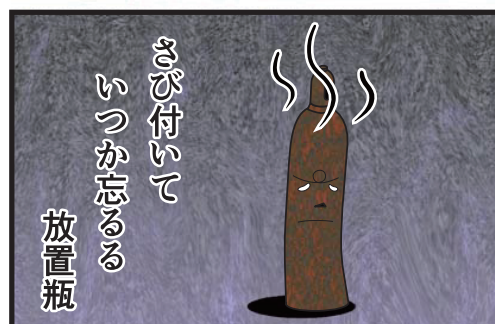
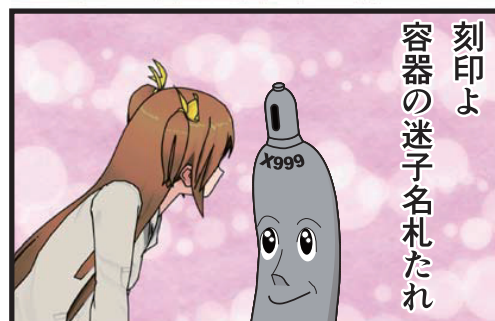
締め切り：2023年2月28日(火) 必着

E-mail：honbu@zenyoren.com

作品例：「炎天下 容器置場は 熱中症」

ぼくはボン兵衛くん

原作：封鎖(ふうか) 作画：ひこさん
第四十話 「応募川柳ネタワンカット」の巻



好評発売中！

A4判・112頁/定価：2,200円（本体2,000円＋税10%）

溶材商社営業マン向けスキルアップ読本 溶接機器・材料・高圧ガスの基礎知識 2022

本書は2022年10月に開催されたセミナー「溶材商社営業マン向けスキルアップ講座」で使用されたテキストとしても使用されており、溶材商社における主力商材を有力メーカーによる執筆でわかりやすく詳しく解説しております。また好評の「図解・工場ガイド」に加え、専門コンサルタントの執筆による補助金・優遇税制に関する基礎知識及び溶接ニュース編集部記者の執筆による読み物ページを追加するなど、最新の業界動向を把握できる冊子へと改定を行っております。ぜひ、本書を営業マン必須の1冊としてご活用いただけたら幸いです。

●購入のお申し込みは… 産報出版株式会社

TEL：03-3258-6411
FAX：03-3258-6430

溶材商社営業マン向けスキルアップ読本

溶接機器・材料・高圧ガスの
基礎知識
2022

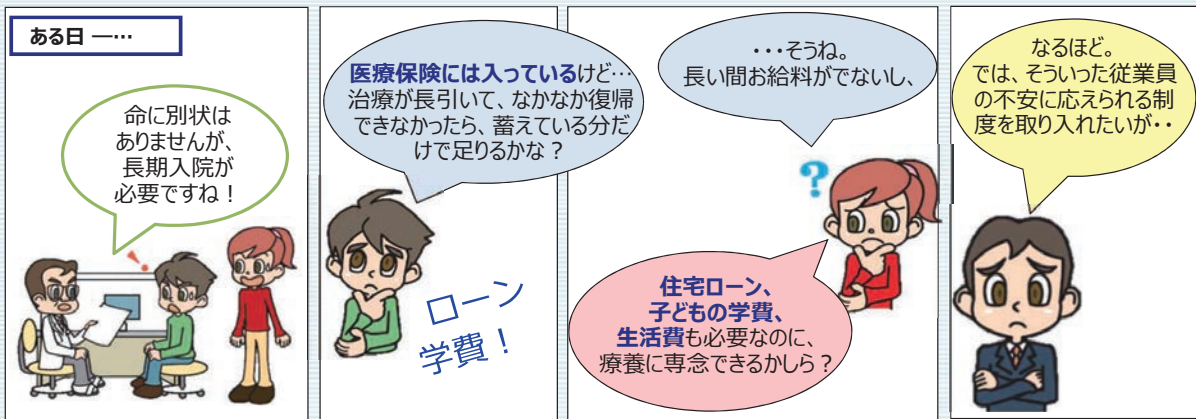
産報出版

団体割引
20%適用

長期収入サポート制度 (全溶連GLTD制度)のご案内

(団体長期障害所得補償保険)

病気やケガで働けなくなった場合に**長期で収入を補償する制度**です。
連合会としてまとめて加入することで、割安な保険料での準備が可能です。
御社の福利厚生の拡充のため、制度導入をご検討ください。



そんなときに!!!

全溶連GLTD制度

POINT

- 免責期間と補償期間の組み合わせで8つのタイプから選択可能。
- 健康状態告知は全員加入一括告知書を採用 (既往症があっても通常勤務されていれば加入可能)。

福利厚生の更なる充実や、自助努力への第一歩として、ぜひ企業さまでの導入をご検討ください



勤務先に「GLTD制度」があって本当に良かった!

長いリハビリ中も、収入の心配もなく元気になることができたわ



よし! 当社も導入しよう!



GLTDについてのお問い合わせはこちらまで

取扱代理店

株式会社 星和ビジネスリンク

TEL 0120-288-270

引受保険会社

【幹事】 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

広域法人開発部 営業課

TEL 050-3460-8162

【非幹事】 日本生命保険相互会社

このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ず「全溶連・福祉共済制度のご案内」および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり (普通保険約款・特約)」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。この保険は全国高圧ガス溶材組合連合会を保険契約者とし、連合会会員企業の従業員を被保険者とする団体長期障害所得補償保険の団体契約です。

(2022年11月承認) B22-102927

発行所

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

東京都千代田区神田北乗物町 12 (大竹ビル)

Tel.03-5296-0430 Fax.03-5577-5062

http://www.zenyoren.com/ e-mail:honbu@zenyoren.com



全溶連は、限りある地球環境の保護に積極的に取り組んでいます。この印刷物は環境保護印刷推進協議会 (E3PA) の認証を受け、グリーンプリンティング認定工場で作成しました。

